

## 会 議 録

審 議 会 名		第5回川西市コミュニティバス運行検討委員会	
事 務 局		土木部土木管理室交通対策課（内線：2783）	
開 催 日 時		平成18年 3月 6日（月）18時30分～19時05分	
開 催 場 所		川西市役所7階 大会議室	
出 席 者	委 員	宮路尊士、生田美智子、安田末廣、井本洋、芥川司、中西忠男、戸松嘉宏、正親キクエ、野崎敏、田中博、百々順一、久隆浩	
	そ の 他		
	事 務 局	土木部長、土木管理室長、交通対策課長、交通対策課長補佐、交通対策課副主幹、交通対策課主査	
傍 聴 の 可 否		<input checked="" type="checkbox"/> 可・不可・一部不可	傍 聴 者 数 8 人
傍聴不可・一部不可の場合は、その理由			
会 議 次 第		コミュニティバス運行検討委員会の総括について	
会 議 結 果 ( 意 見 概 要 )		<ul style="list-style-type: none"> <li>・事務局から総括の概略を説明</li> <li>・総括の概要を承認</li> <li>・総括書案を事務局で適宜修正して、最終総括書を作成し、市に提出する</li> </ul>	

## 議 事 録（発言要旨）

発 言 者	発 言 内 容
会 長	<p>ただいまから5回目を検討委員会をはじめます。</p> <p>前回、9月の検討委員会で本検討委員会そのものをどうするかということになりまして、私と、副会長、事務局で協議して、最終的には私に一任するということになりました。その後、事務局では庁内で検討委員会をどうするかという議論を重ねられ、そして検討委員会の総括素案を作成し、その素案を元に私と副会長の意見を踏まえて、今回提示させてもらったものです。</p> <p>本日はこれを検討していただくことになっておりますが、まずは、この案について事務局から説明いただきますので、よろしく願います。</p>
事 務 局	<p>お手元に配付しておりますコミュニティバス運行検討委員会の検討総括について事務局より説明させていただきます。</p> <p>まず、先日お送りさせていただいております案について、その後若干校正をさせていただいておりますが、本日改めて総括案を配付させていただいております。なお、修正箇所につきましてはお手元に修正一覧表を配付させていただいております。ただ、大きな校正は行っておりません。てにおはや表記の仕方の問題があることについて修正しております。</p> <p>それではページを追って説明させていただきたいと思っております。</p> <p>本検討委員会の基本的な考え方を4ページの「3総括・結論」を、それから7ページの「おわりに」で当検討委員会の意見を記述しております。</p> <p>まず、4ページの3検討委員会の総括・結論において、現時点ではコミュニティバスの本格運行を目指した実証実験を実施するには早計であり、検討委員会の検討はここで終結するが、今後は高齢者や障害者のいわゆる交通弱者に対する対策をコミュニティバスにこだわらない他の様々な手法で引き続き検討されることを望むとしております。</p> <p>また、7ページのおわりににおいて、コミュニティバスが、現存の公共交通事業で網羅できていない地域で地域の渴望によって運行するものということから考えると、地域での盛り上がり・議論が不可欠である。また、川西市域では公共交通機関が事業を行っているものの、市内各地域では様々な交通課題があり、さらに高齢化が急速に進んでいる状況から、コミュニティバス運行検討委員会の検討は今回で終結するものの、地域の交通課題解決のためには、新しい観点から望ましい手法を検討されることを川西市に対して強く望むこととしております。</p> <p>総括の構成としては、「はじめに」に続き、「検討委員会が設置されるに至った経緯」として、平成15年度に市が行った「アンケート調査結果」を示し、コミュニティバスの要望を確認するとともに、本当にこういったバスが地域課題のために有効なのかを全市的に検討する必要があることから検討委員会を設置し、実証実験を行うに当たり望ましいルート、運</p>

発 言 者	発 言 内 容
	<p>賃、ダイヤ等を協議しようとしたものであると記述しました。次に3ページで「検討委員会の検討テーマ」として、事業主体、赤字補填、実証実験の3つの考え方について記述し、事業主体、赤字補填、実証実験の考え方が市と意見が違っていたので、実証実験について議論を交わすことができなかったことを記述しました。4ページでは、「検討委員会の総括・結論」と、「結論に至った主な意見等」を記述し、5ページから6ページで「その他検討委員会で提案のあった意見、状況」を記述しております。そして、7ページの「おわりに」で検討委員会の意見を記述して締めくくっております。そのあとに、参考資料として、1 検討委員会の設置要綱、2 委員名簿、3 コミュニティバス運行にかかる経緯、4 検討委員会開催状況一覧、5 検討委員会意見概要を記述しております。</p> <p>以上が、総括案の内容で、これで了解が得られれば事務局で資料4の開催状況一覧、資料5の意見概要などを適宜修正加筆し、最終の総括書を作成することとさせていただきたく存じます。</p> <p>また、できあがった最終の総括書を市に提出するとともに、各委員に送付することをご了承願いたく存じます。</p> <p>以上でございます。</p>
会 長	<p>ありがとうございました。委員の皆様には事前に送付いただいておりますので目を通していただいているかと思いますが、この総括案に関しましてご意見ご質問はございますでしょうか。</p>
A 委 員	<p>総括案の最後のところで、実証実験のあり方等についてコミュニティ選出の委員から単に意見を求めるのではなく、市民ニーズ等についてもっと詳細な調査をしたうえで検討委員会を設置すべきであったと考えるの箇所ですが、実証実験ができなかったのは前に書いてあるように市の当初の想定と違っていただけからなんですよ。ところがこれを見ると我々が意見を言ったからできなかったという受け取り方をされる。こういう文章の書き方はどうかと思う。</p>
会 長	<p>はい。いかがでしょうか。 この3行を削除ということによろしいでしょうか。</p>
A 委 員	<p>事務局の方で思いがあればいってもらえればいいんですが。</p>
事 務 局	<p>この3行につきましては、事務局の反省の弁ということにもとれますし。委員の申し入れで3行削除ということであればそのようにさせていただきます。</p>

発 言 者	発 言 内 容
A 委 員	市民ニーズの結果もアンケートで既に載せているわけで。こんな書きかたをしたら、コミュニティ選出の委員からのというのが目立ってしまう。
会 長	ご異論がなければ、3行削除ということにいたしますがよろしいでしょうか。 他にありませんでしょうか。
B 委 員	この3行は、委員が悪いのではなくて、もっていき方だと思うんです。例えば、平成15年にされたアンケートは私も送ってこられて回答しましたが、あれとは違って今回のコミュニティバスは、一番最初は市民病院にどうやって行くか、市民病院に行きやすい方法みたいなところで決まっていたように思うんですが、検討委員会で全員が集まってからいろいろ話し合っている間に、空白地帯とか高齢者が多くなるという問題点から見たときに、市の方も観点の順番の置き方が違って来たのではないかと思われて反省というふうにされたので、検討委員会のメンバーが言ったからだめになったとはとられないので削除する必要はないと思う。
A 委 員	そういう意見もあるかと思いますが、文章を見ると最後のところにしたうえで検討委員会を設置すべきであったとなっている。今の検討委員会について言っていることに私は疑問だと思うんです。結果がどうあれ、こういう形で検討委員会を立ち上げたからこうなったというような読み方をされる。そしたら我々検討してきて、やって来たのはなんやってんというふうに感じます。
B 委 員	だから、行政側がもう一步前にかえる必要があったということです。
A 委 員	この中に、検討委員会が設置されるに至った経緯ってありますね。こういう形で設置したのに最後の文章でこの検討委員会がもっとすべきであったというのは、何のために検討委員会をしてきたのかということになる。
会 長	おそらくこの検討委員会が実証実験ありきで、最終的にはコミュニティの負担、実施主体を念頭に置きながらスタートした、そのあたりのボタンの掛け違いだと思うんです。ですから、B委員が言われるように、もう少し広い観点で公共交通をどうするんだ、その中で交通弱者がどのような状況になっていてそれをどういうサポートしてやるかという広い観点でスタートする中で、最終の結論としてコミュニティバスの実証実験があればよかったという話だと思うのですが。その点はA委員がおっしゃるように前の方に書いていますので、最後の3行を特出しすると余計目立つというのがあります。そのあたりは前に入っているということで3行削除で。

発 言 者	発 言 内 容
A 委 員	<p>普通はこの検討委員会を立ち上げた段階で、会長が言われたように何々ありきという形でできてしまう。ところが今回は違ったということで何か責任を検討委員会に振ってきたように感じられるのです。そうじゃないでしょう。市が考えていた想定と違っていただけから出てきたので、ここで検討委員会に対してどうこう書く必要があるのかと思うのです。</p>
会 長	<p>いかがでしょうか。</p>
B 委 員	<p>市に肩を持つわけではないのですが、かかわった人の反省として書かれたのではないかと思うんです。</p>
会 長	<p>そうともとれるし、多くの委員が誤解を招くのであれば削除で・・・。</p>
C 委 員	<p>3行削除するより、表現を変えてはどうか。例えば、コミュニティ選出の委員や検討委員会というのを入れないでつないではどうか。3行全部を抜いてしまうのはどうかと思う。</p>
会 長	<p>それなら例えば、実証実験のあり方等について議論を行うだけでなく、より広範囲に公共交通のあり方、交通弱者への対応等を検討し、市民ニーズ等についてもっと詳細な調査をしたうえで検討委員会を設置すべきであったと考える、とすればどうでしょうか。そうするとB委員のおっしゃった話と合うと思いますが。</p>
D 委 員	<p>私たちはコミュニティから選出されて、そして最初は市民病院に行くアクセスという形で検討するというところで、難しいとは分かっているながら端から端までのルート案を出したんです。なんだかコミュニティから選出された私たちが力不足のようになってしまうので、もっと多くの市民の方に参画してもらおう方向でやられたらよかったですのではないのでしょうか。だからコミュニティ選出委員という言葉はここでは考えていただきたい。私はA委員が言われたのに賛成です。</p>
会 長	<p>私が先ほど申し上げたように、コミュニティ選出の委員から云々を消してしまい、少し書き直したもので誤解を招かない表現でいかがでしょうか。</p>
A 委 員	<p>そうしていただいたらいいと思う。</p>
D 委 員	<p>本当に力不足だったかもわからないけど、こういう書き方だけはしてほしくないので結構です。</p>

発 言 者	発 言 内 容
<p>会 長</p> <p>事 務 局</p>	<p>個人的には、当事者の、本当に困っていらっしゃる方の声が反映できるような委員構成や方向であればよかったと思います。</p> <p>他はいかがでしょうか。</p> <p>よろしいでしょうか。</p> <p>さきほど力不足の話が出ましたが、私が一番力が及ばなかったと思いますが、総括させていただいて発展的に、反省も踏まえてよりよい手法を検討してもらうということで、次年度以降当事者の声も十分取り入れながら、より適切な交通手段で、困った方が一人でもなくなるような対策を検討するような場を設けていただきたいと思います。</p> <p>私もいつでも声をかけていただけるなら、お力になりたいと思います。この委員会は収束させていただくということをお願いしたいと思います。それでは、事務局にお返しします。</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>終わりに、私どもの部長よりお礼を述べさせていただきます。</p> <p>失礼いたします。コミュニティバス運行検討委員会の閉会に当たりまして一言私の方からご挨拶申し上げたいと思います。</p> <p>本日はお仕事等で大変お疲れのところ、また、非常に遅い時間帯にもかかわらず、大変熱心にご協議いただき、おかげをもちまして検討委員会の総括をしていただくことができました。</p> <p>会長、副会長をはじめ委員の皆様には、昨年6月にコミュニティバス運行検討委員会を発足させていただいて以来、多くのご意見をいただき、さまざまな検討を重ねていただいたところでございます。そして本日総括をいただきましたが、本格運行の事業主体や採算性の不確実さ等々で実証実験の実施には至りませんでした。当委員会での議論は私どもには非常に良い教訓となり、次の施策を検討するうえでの大きなステップになったものと確信いたしております。</p> <p>市といたしましては、本日の総括をお受けし、今後の対応を検討してまいりたいと考えております。</p> <p>最後になりましたが委員会での長期にわたるご熱心なご協議、ご協力いただきましたことに心より感謝とお礼を申し上げまして、簡単措辞ではございますが、閉会に当たりましての私のご挨拶とさせていただきます。</p> <p>どうもありがとうございました。</p> <p>19時05分 解散</p>